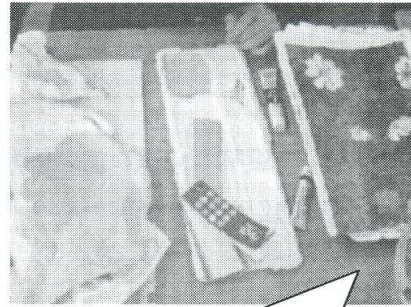
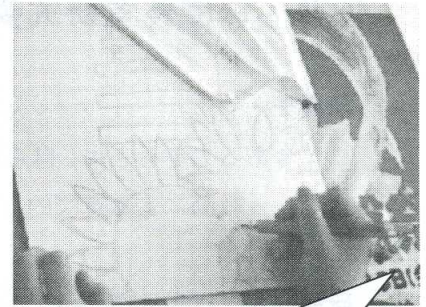


広がる未来を海に見立てた。  
布のしわを生かし、波を表現  
した。



イメージに合う色を写真や配  
色カードを参考にして選び、  
アクリル絵の具で作った。



友だちの文化祭ポスターに描  
かれた向日葵を参考に、自分  
の向日葵を描いた。

### 3 研究の成果と課題

- **表現主題の深化** 「未来の私へ」を共通テーマに、一人一人が自分の内面を見つめ制作に取り組んでいる。「こんな時代にこんな風に生きている私」の様にさらに具体的な自分を思い描き、色と形と素材を十分に生かして表現したい。
- **布の造形性** 布により美しい形を作り、画面に動きや奥行きが表現できている。一人一人の表現主題に不可欠な要素になるよういっそう工夫できると良い。
- **制作カードの活用** 授業の終末時に生徒は、感想と次時の課題を記入する。教師は、一人一人にアドバイスを書き込む。制作の開始時に生徒はカードの内容を確認する。この積み重ねにより、きめ細かな個別指導と、見通しを持った制作が可能になった。
- **題材配列の工夫** つけたい力を明確にして、生徒たちの興味や関心を生かした実践を中学校3年間積み重ねてきた成果が、混色の仕方、用具の扱い方、技法の工夫など本題材追求の姿に結実していた。教師と生徒、生徒同士の信頼感が築かれ、落ち着いて制作に没りこむ姿が見られた。

### 4 来年度への課題

本年度のように、授業者の日頃の課題意識から出発した研究を行い、参観者にとって明日からの授業に生かしたいと思えるような工夫や題材の提案ができるようにしていきたい。